

市民の暮らしを守り 願いを実現する市政へ



柴田 博
(日本共産党)

◆Fパワープロジェクト

問 木質ペレットの生産と普及についての状況、将来的な展望について、塩尻市としての考えは。市としての目標を持つべきと考えるがどうか。

答 ペレットの製造については、需要の見極め、採算性や事業を誰が行うのか、規模や開始時期など検討中である。普及については、ふれあいセンター・広丘や小学校、保育園などにペレットボイラーやストーブを導入している。

◆介護保険総合事業について

問 来年4月から要支援1・2の方の訪問介護と通所介護が保険から外され総合事業に移管するが、これまでのサービスが受けられなくなるのではないかとという危惧がある。今後の体制や利用料などの準備状況はどうか。

答 総合事業導入後数年は、現行のサービスと資格者などが緩和されたサービスを主体に事業を進める。利用料については、現行サービスにつ

ては変わらないが、緩和されたサービスは多少少くなる。

◆道の駅施設整備について

問 小坂田公園レストラン棟のトイレについて利用者から洋式が少ないという苦情が寄せられている。本市の印象悪化にもつながる問題だと考えるが、改修の考えはないか。

答 小坂田公園レストラン棟の女子トイレが洋式トイレ設置割合25%となっている。ほかの道の駅のトイレについては半数以上が洋式となっている。国事業の活用も考え、計画的に洋式化を進めていく必要があると考えている。



木質ペレット製造機

塩尻産ワインを 世界一のブランドに!!



西條 富雄
(清風クラブ)

◆塩尻駅前に塩尻産ワイン全銘柄を集めた場所づくりを

問 塩尻駅で乗り継ぎ観光客が、短時間で塩尻産ワインを飲むことができる場所、購入できる場所づくりは。

答 塩尻市観光センターでは、市内8つのワイナリーのワインを販売している。また、近隣の飲食店等において飲食できるが、観光センターと観光協会との連携により充実を図っていく。観光客誘導については、駅前広場の整備と併せて一体的に研究していく。

◆塩尻市ワインピック開催の提案

問 市内全ワイナリーが一堂に会し、市民の飲み比べ人気投票で、最優秀賞には賞金100万円を授与してはどうか。賞金の基金は、ワイナリー各社から年間50万円を協力していただく。市内11社中例えば8社が協力した場合、年間400万円集まる。4年間で、1千6百万円の基金ができる。基金の集まり状態で開催を4年

から毎年にしても良い。世界からのワインブランドが塩尻市に集結する日を期待したい。ワインピック開催についての市の考えは。

答 ワイン産業振興本部において、本市のワイン関連産業の5年後の姿について検討する「研究会（仮称）」を立ち上げる予定となっている。ポトムアップ的に発生することを期待している。

◆駅前にコンビニを

問 賑わい創出にコンビニを。そうした機運を高めてい



塩尻駅前の様子